



Zoom 対談「いのちを挙げる」

瀬口 真一郎さま & 刀根 健さま

2025年 12月21日(日曜日) 20:00-21:30

全身末期がんから奇跡の生還を果たした刀根さん。その体験の中で辿り着いたのが、「何があっても楽しく遊びましょ」というシンプルな言葉でした。私たちはつい「頑張らなきゃ」「ちゃんとしなきゃ」と力が入ってしまいます。でも、刀根さんは言います。「生まれてきた意味は、遊ぶためなんですよ」と。たしかに、遊びの中には創造があり、笑いがあり、喜びがあります。子どものように夢中になる瞬間こそ、生きている実感が宿るのかもしれません。私自身、最近ようやく気づいたんです。「人生は修行ではなく、遊びの延長なんだ」と。あなたは今、どんなことで遊んでいますか? 今日という一日を、笑顔で遊ぶように生きていきたいですね。

～人のご縁で、歓喜の場をつくる～しんちゃん(しんちゃん「人生の保険になる言葉」vol.1013より) 刀根さんの言葉や笑顔に触れるたび、人生ってこんなに軽やかでいいんだと心がほどけていくというしんちゃん。冬至を翌日に控えた絶好の佳き日☆しんちゃんと同じように素敵な共鳴がご参加皆さんと出来たら嬉しいですね。お二人の素敵なお顔に癒され、いのちを慈しむ貴重なひと時をご一緒しませんか。



瀬口 真一郎さま(しんちゃん)
天から見れば～言葉を大切に伝えていきたい
会～ 代表
東京海上日動火災保険株式会社 推進役

大分県の山深い地で質素な幼少期を過ごし、かけうどん一杯が特別な外食だった。お金がないと選択肢は限られると幼いながらに痛感。

地元の国立大学を経て大手損害保険会社へ。損害サービス部門で数々の自然災害に対応し、「もしもの時の備え」の重要性を深く認識。若くして幹部候補となるも、重責からうつ病を発症。20年以上闘いながらも定年まで勤め上げた。現在も勤務しつつ、ライフワークとして自主上映会や対談会のコミュニティ『天から見れば:言葉を大切に伝えていきたい会』を主宰。参加者は2700名超。保険業界39年、お客様の人生に寄り添い続けた経験から『人生保険メソッド』を確立。中高年が安心して挑戦できる社会を目指し、講演や情報発信を展開。趣味の茶道や大切な人々との交流を深め、人生の後半戦を豊かに歩む。



刀根 健さま
1966年静岡県生まれ。東京電機大学卒。2016年9月肺がんステージ4と診断。2017年6月脳転移治療のため1ヶ月入院。精密検査で脳の他に両目、左右の肺、肺から首のリンパ、肝臓、左右の腎臓、脾臓、全身の骨転移が新たに見つかり、医者に「来週にでも心臓が止まつてもおかしくない」と告げられる。

その絶望的な状況で不思議な神秘体験と分子標的薬で奇跡的に回復。ひと月後の診察でがんはほとんど消失。2023年には放射線治療の後遺症のため、開頭して脳の切除を経験した。現在はその体験を通しての気づきをもとに講演、セミナー、執筆活動をしている。著書:『僕は、死なない。』『さとりをひらいた犬／ほんとうの自分に出会う物語』(以上SBクリエイティブ)年内出版予定に『しあわせをはこぶネコ』(徳間書店)『がんステージ4、11の後悔(仮題)』(SBクリエイティブ)がある。オンラインサロン『みんな、死なない』ブログ:『Being Sea/肺癌ステージ4からの気づき』

テーマ: 中今(なかいま)に生きる IKIGAI

〈受講料〉 3,000円 (オンライン開催・録画のみも同料金)

〈申込み先〉 nikkohikarinoshizuku.com

または QR コードから

〈お問合せ〉 ホームページもしくは、

電話 080-9343-1188まで

〈主催〉 日光安らぎの家光のしづく



お申込み
QRコード

〈支払方法〉 ご参加お申込み後に、
お振込口座(ゆうちょ銀行)の
ご案内をお送り致します。

※翌日配信の録画視聴のみのご参加も可能
一ヶ月ご視聴頂けます。